

第3学年4組 学級活動（1）学習指導案

日時 令和6年10月24日5校時

学校名 昭島市立拝島第一小校

対象 第3学年4組29人

授業者 諸橋 凌那

研究主題

互いを認め合い、社会でよりよく生きる児童の育成
～学級・学校でよりよい人間関係をつくる活動を通して～

1 議題 「3年4組オリジナルマスコットを作ろう」

学級活動（1）ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

2 目標

- ・ みんなで楽しい学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解し、意見の比べ方やまとめ方など活動の方法を身に付けるようにする。
- ・ 楽しい学校生活をつくるために、課題を見だし、解決をするために理由を明確にして話し合いながら合意形成を図り、協力して実践することができるようにする。
- ・ 楽しい学級生活をつくるために見通しをもったり、振り返ったりしながら、自己の考えを生かし、役割を果たして集団生活に取り組もうとする態度を養う。

3 評価規準

ア よりよい生活を築くための知識・技能	イ 集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	ウ 主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
① 話合いの準備を計画的に進める方法について理解している。 ② 計画的な話合いの進め方やまとめ方を身に付けている。 ③ 話合いで決定したことについてみんなで実践することの意義や、方法について理解している。 ④ 集団活動を通して、友達と共に活動することの楽しさ、よさを理解している。	① 議題に合った意見を考え、表現している。 ② 議題や提案理由を意識して自分の考えをもち、話合いの活動計画について考えている。 ③ 多くの工夫の中から、多様な意見のよさを生かしながら合意形成を図っている ④ めあてを意識しながら、見通しをもって計画を立て、自他の役割を考えて、友達と協力し合って実践している。	① よりよい学級生活づくりのためにすすんで議題を選ぼうとしている。 ② 計画委員会の活動や話合いの準備など、自主的に取り組もうとしている。 ③ よりよい学級生活のために多様な価値観を受け入れたり、これまでの話合いの流れを受けた発言をしようとしていたりしている。 ④ 活動を振り返り、今後の集団活動に取り組もうとしている。

4 指導観

(1)議題観

本議題は、小学校学習指導要領(平成 29 年 3 月告示)第 6 章特別活動

[学級活動]

2 内容(1) ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

学級や学校における生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。

3 内容の取扱い(1) [第 3 学年および第 4 学年]

理由を明確にして考えを伝えたり、自分と異なる意見も受け入れたりしながら、集団としての目標や活動内容について合意形成を図り、実践すること。自分のよさや役割を自覚し、よく考えて行動する節度ある生活を送ること。

を受けて作成した。自分たちで決めたことについて協働するとともに、一連の活動を振り返り、次の課題へとつなげていくことまでを含んでいる。

(2) 児童の実態

1) 児童・生徒の実態

本学級では、友達の意見に耳を傾け、思いやりをもって行動しようとする児童が多い。4 月当初から友達と関わることが大好きで、休み時間は外で友達と関わって遊ぼうとする姿が見られている。また、5 月以降学級にも慣れてきて、もっと友達と関わりたい、色々なことをやりたいと意欲を高めている様子が見られる。学級でトラブルがあると、「〇〇はどう思っているの?」「〇〇のためにこうしよう。」などと相手を意識した発言も見られる。一方で、見通しをもって考えて行動することが苦手な児童も多く在籍している。相手の気持ちに気付かず、トラブルになってしまうこともある。そのため、児童の気持ちに耳を傾け、他者の気持ちに気付くように指導している。また、「他者との違い」を意識できるように声をかけている。

学級活動においては、「クラスみんなが」というキーワードを基に他者を意識しながら発言しようとする姿が見られる。

第 1 回の「当番・係活動を決めよう」では、今までの経験からクラスみんなが楽しめたり、助かったりすることを考え発言しようとする児童が見られた。なかなか係を決めることができない児童に対しても、「一緒にやろう。」と優しく寄り添おうとする様子もあった。

第 2 回以降もクラスみんなのことを考えて発言しようとする児童がいる一方で、自分に自信がなく、意見があるにも関わらず全体で発表することができない児童もいた。そのため、事前に自分の考えを明確にもたせ、学級会ノートに書かせたり、小集団から全体へ意見の共有をしたりすることで、発表しやすい環境を整え指導してきた。

司会グループについて、計画委員会は輪番制で行っており、多くの児童に計画委員会を体験できるようにしている。本議題については初めて計画委員会を担当する児童が運営する。

本学級会については、①学級会の流れを理解すること、②提案理由を意識した発言を行うこと、を意識できるように指導をしていく。

学級の目標

3 年 4 組元気な子 明るくすてきな子 仲良し楽しいよ みんなでずっとがんばろう!

〔これまでの学級会での議題、決まったこと〕

4月	当番・係活動を決めよう	・遊び、塗り絵等クラスを盛り上げる、役に立つ係に全員所属した。
6月	みんなでできる楽しい遊びを開こう。	・中休みにドッチボールを行う
7月	遊び集会を開こう	・ハッピータイムにおにごっこを行う

(3) 教材観(議題選定の理由)

議題について、本学級では、クラスマスコットを1学期に教師が提示して、学級運営を行ってきた。クラスマスコットは、学級児童から親しみがあり、人気がある。今回の学級会で話し合う議題は、そのクラスマスコットと自分たちの友達を作りたいという児童の思いが始まりである。

本単元では、①学級のよさをマスコットキャラクターに表し、より一層成長したい、②マスコットキャラクターを作る過程において、他者理解を深めていき、一層児童の仲を深められるようにしたいという思いを具体化した。児童から思いを引き出すことで一人一人が自分事として考えられるようにしている。学級の良さとして児童から①優しい、②笑顔、③元気、④人の話を聞く、4つが挙げられた。学級の良さを表した4つのキーワードをマスコットキャラクターに表していく。

5 指導計画と評価計画

日時	○児童の活動		□評価基準(評価方法)
	計画委員会の活動	学級全体の活動	
9月27日 (中休み)	計画委員会で議題を選定する。		ウー① よりよい学級生活づくりのためにすすんで議題を選ぼうとしている。 (観察、記録)
10月1日 (ハッピータイム)		議題を学級全体で共有する。	ウー① よりよい学級生活づくりのためにすすんで議題を選ぼうとしている。 (観察、記録)
10月8日 (朝学習)		提案理由の練り上げを学級全体で行う。	アー① 話合いの準備を計画的に進める方法について理解している。(観察、記録) イー① 議題に合った意見を考え、表現している。(観察、記録)
10月10日 (昼休み)		児童にキャラクターの特徴を提案理由を基に事前に出し合い、意見を募る。	イー① 議題に合った意見を考え、表現している。(観察、記録)

10月11日 (朝学習)	計画委員会は意見を整理分類し、短冊を書いて学級会コーナーに掲示する。 ○計画委員会は意見を整理分類し、短冊を書いて学級会コーナーに掲示する。 話合いのめあて、役割分担を決め、学級全体に共有する。		イー② 議題や提案理由を意識して自分の考えをもち、話合いの活動計画について考えている。(観察、記録) ウー② 計画委員会の活動や話合いの準備など、自主的に取り組もうとしている。(観察、記録)
10月23日 (中休み)		整理・分類された意見に対して、児童が質問し合う。	ウー② 計画委員会の活動や話合いの準備など、自主的に取り組もうとしている。(観察、記録)
10月24日 本時		提案理由を基に自分の賛成・心配意見を学級会ノートに書く。	イー② 議題や提案理由を意識して自分の考えをもち、話合いの活動計画について考えている。(観察、記録)
11月1日実践		事前に出てきた意見を基に、計画委員会で話合いのリハーサルを行う。	ウー③話合いで決定したことについてみんなで実践することの意義や、方法について理解している。

6 指導に当たって

- (1) 目指す児童像 ★各分科会で定めた児童像を記載してください。

◇話合いの楽しさを知り、自分から話合い活動をしたいと思える子
◇自分の話を聞いてもらって反応（なにかしらの意思表示）してもらえる安心感、みんなの意見を聞いて受け入れようとする子
◇集団の中での関わり合いを通して自分と相手の違いに気付いて受け入れることができる子
自発的に発言したり、議題に沿って話合いをしたりすることができる子

- (2) 目指す児童像に迫るための手だて（研究の視点に基づいて）

手だて1 計画委員会のよりよい運営指導

- ① 児童自身が学級会を進行できるように、計画委員会でそれぞれの役割を明確にしていく。司会者については、話合いの台本を教師が作成し、話合い活動をスムーズに行えるようにしている。
- ② タイマーを利用し、計画委員が時間を意識して学級会に取り組めるようにした。
- ③ 計画委員会でのリハーサルでは、学級会の司会進行で困りそうなことを事前に出し合い、困ったことに対する手だてをワークシートにまとめた。

手だて2 意見をより表出できる（場づくり）

- ① 国語科の「話す・聞く」の単元を関連させ、学級会での意見の出し方を常時掲示し、児童全員が意識できるようにする。
- ② 全員が共通認識で学級会を行えるように、教室後方に意見が書かれた短冊を掲示して、事前に児童が質問し合うことで、共通理解ができる環境をつくった。

手だて3 よりよい「議題設定」の工夫

- ① 3年生という実態を踏まえ、司会の不安軽減を図り、司会の進行を手助けするための話合いの「ヘルプカード」を作成した。司会が困った際に提示した場合は、司会者と気持ちを共有し児童同士が助け合えるようにする。
- ② 提案理由のキーワードが4つ出てきたため、項目毎にマグネットの色で可視化した。賛成意見を項目毎に色で分けることによって、賛成の数の多さではなくキーワードに沿っているかを比較し、合意形成を図れるようにする。
- ③ マスコットという議題の内容が3年生の実態に対して抽象度が高いため、事前に意見を出し合い質問し合う時間を設け、共通理解を図った。

手だて4 見通しをもって学級会に取り組める（教室環境づくり）

- ① 児童の必要感に迫る議題にするために、児童に議題の必要性を問いかけて、何のためにマスコットを作るのかを学級全体で確認した。
- ② 提案理由を共通理解して児童が自分事で考えられるために、提案理由の練り上げを学級全体で行った。

7 本時の展開

- (1) 議題「3年4組オリジナルマスコットを作ろう」
- (2) ねらい
クラスの思いがこもったマスコットキャラクターを作ることを通して、よりよい学級・学校生活を意識して行動できるようにする。
- (3) 提案理由
「クラスの良さを表したマスコットキャラクターを作る活動を通して、クラスの良さを一層成長させたい。」
- (4) 決まっていること
・持つ者2つ ・柄は3つ ・笑顔 ぼうし 明るい色
- (5) 教師の指導計画

活動内容	○指導上の留意点 ◇評価
1 始めの言葉	
2 司会グループの紹介	
3 議題の確認	
4 提案理由の確認	
5 (話し合いのめあての確認)	
6 決まっていることの確認	○話し合い活動が焦点化できるように事前に指導する。
7 話し合い	○建設的な話し合いにするために、賛成意見の理由に注目するよう助言する。
(1) 話し合うこと① どんな道具をもつか	○賛成は赤・黄色・緑・紫で反対は青のマグネットを黒板に貼り、賛成、反対の意見を可視化する。
(2) 話し合うこと② どんなマーク・柄をいれるか	○賛成の色は4色扱う。賛成者の意識したポイント毎に色を変える。
8 決まったことの発表	クラスの良さのキーワード 赤：優しい 黄色：笑顔 緑：元気 ピンク：人の話を聞く。
9 先生の話	◇ウー③ よりよい学級生活にするために多様な価値観を受け入れたり、これまでの話し合いの流れを受けた発言をしたりしている。
10 振り返り	(観察・記録)
11 終わりの言葉	◇イー④ 多くの工夫の中から、多様な意見のよさを活かしながら合意形成を図っている。 (観察、記録、学級会ノート) ○提案理由やめあてから逸れそうになった場合は助言し、人権上配慮が必要な場合は、指導する。 ○絞れない場合は、全員に「どれでも取り組める」と確認した上で、多数決を取りうることも事前に指導する。 ※提案理由やめあてに沿った発言ができたり、まとめる意見を出したりした児童を評価する。 ※司会グループをねぎらい、具体的に評価する。 ※次回以降の活動を児童に伝える。

学級会
 議題三年四組オリジナルマスコットを
 作るう
 てい案理由
 クラスの良さを表したマスコットキャ
 ラクターを作る活動を通して、クラス
 の良さを一層成長させたい。
 話し合いのめあて
 てい案理由を意しきして意見を言おう。
 決まっていること 持つもの・2つ
 がら・3つ
 話し合うこと どんな道具を持たせるか。
 赤 優しい 黄色 笑顔
 緑 元気 むらさき 人の話を聞く